



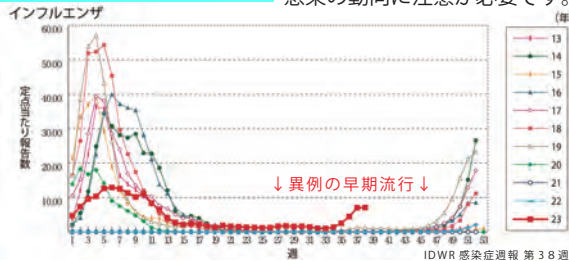
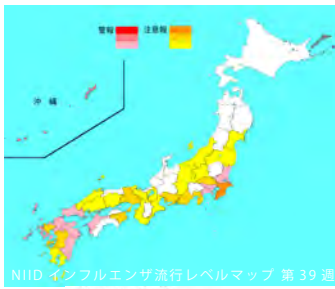
10月よりインフルエンザワクチン接種が始まっています！

例年よりも圧倒的に早いインフルエンザの流行の兆しアリ



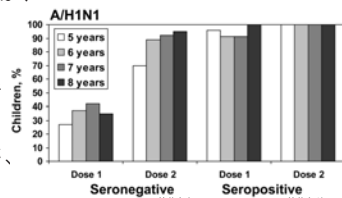
保育室の壁には中目黒の街がファンシーに描かれ、病気のお子さんが少しでも楽しい気分になるように想いがこめられています！

2023年度は大流行したコロナ禍も明け、徐々にみんながマスクを外し、いろんな場面でコロナ前に戻りつつあります。この3年間は皆さんのまじめな感染対策により、ウィルスの流行にも変化がありました。この間に大きなインフルエンザの流行がなかったことで抗体獲得が少ないためか、例年よりも大幅に早い時期に流行が始まっており、全国の流行マップを見ても、警報レベルの地域が増加しているのが分かります。98%はA型で、2種類（H3>H1pdm）流行があることから、1回罹ってもまだまだ油断できません。また学園祭や運動会のシーズンということもあり、若い世代での流行が目立ち、感染者のおおよそ2/3は20歳未満です。今後も本来の流行期になる冬に向けて感染の動向に注意が必要です。



9月のキッズトリビア インフルワクチン日本は13歳未満で2回、海外では9歳未満で2回

日本では**13歳未満**の小児では免疫応答の問題から2回のワクチン接種により十分な抗体がつくとされ推奨されていますが、WHO（世界保健機関）やCDC（米国疾病予防センター）は**9歳以上は1回接種で十分な抗体がつく**としています。また過去に**2回以上接種**してすでに抗体がある場合には、**9歳未満でも1回接種**で抗体産生は十分されるというデータもあります。1回目と2回目は2-4週間空ける、と言われますができれば**4週間空ける**ことをお勧めします。日本だけではなく諸外国の方針に目を向けてみると、最小限の接種回数でも効果を最大化することができますので、お子さまへのワクチン接種で悩んでいる方は参考にしてください。また今年はすでにインフルエンザに罹った方も多いかと思いますが、これからの冬シーズンの流行のタイミングや型の違いを考慮して、同様に**罹患から4週間以上空けて1回接種**されると、より抗体の上昇は期待できると思います。（定められた見解はありません）



9歳未満でも抗体を持つ場合は1回接種で十分な抗体上昇あり

Immunogenicity and reactivity of 1 versus 2 doses of trivalent inactivated influenza vaccine in vaccine-naïve 5-8-year-old children J Infect Dis . 2006 Oct 15;194(8):1032-9.



目黒区は先進的に病後児保育施設の予約システムのICT化を決定しました。当施設では先んじて病児保育専用ネット予約サービス『あずかるこちゃん』を導入して、朝の忙しい時間帯に利用の可否の電話をする施設側・保護者側双方の大きなストレスをLINE通知で解消し非常に好評です。まずは事前登録だけでもぜひぜひ、お待ちしております。

ご協力のお願い

おうちにある、使わなくなったおもちゃや絵本、衣服をぜひロコキッズケアで再利用させてください。地域の皆さまと支え合う施設をめざしています。ぜひ皆さまからの寄付をお待ちしています！

利用可能登録者数 270名
(あずかるこちゃん事前登録数)

9月の利用者数 51人
(助成対象外利用者を含む)



所在地 東京都目黒区東山1-9-8高橋ビル
開所時間 月曜日～金曜日 08:00 - 18:00
電話 03 - 3714 - 6565
運営機関 ロコクリニック中目黒

